

respondents interviewed by telephone in 1990.

そして次の部分は調査の結果(abs4)を示しています。

【 】

Mistrust reduces the probability of reporting income, whether exactly or approximately. Homemakers and those with little household power report income as often as others if allowed to report approximate rather than exact amounts. The same applies to African Americans, the poorly educated, the unmarried, and people who feel powerless. Older persons and those in larger households report income less often than others and tend to give approximate amounts.

最後は結論(abs5)です。先の結果を理論や仮説に照らして解釈したもので、論文にとって最も重要な情報です。

【 】

The results confirm that knowledge and trust affect the reporting of income in surveys.

このように、アブストラクトでは基本的な情報を順序よく示すことが求められます。

3 アブストラクトで有用な英文表現例

以下に英語のアブストラクトでよく使う表現を挙げておきます。便宜上分類してリストアップしてありますが必ずしも限定的な分類ではないので、状況に応じて参考にして下さい。

研究の目的	The purpose of this study is . . . This paper examines This paper aims This study provides This paper deals with This paper attempts to	研究の結果	The author discovered that This study reveals The results show The results indicated Several crucial elements are outlined The author found
研究の内容	The author surveyed This study explores This paper provides This paper reviews This paper is an investigation of . . . The author considers This paper treats The author tested/confirmed	考察 結論 提案・提言	Results indicate that It is argued that. . . . The study concludes The author concludes that The author suggests that. . . . The paper presents The paper proposed/recommended The data suggest that

比較	The author compared This study compared	分析	. . . is/are analyzed
		指摘	It is pointed out

4 英文表現において注意すべきポイント

4.1 数字

4.1.1 アルファベット綴りで数を表記する場合

- 文の初めの部分を数字で始めるとき
- 数の少ない単語で数字の表記ができるとき
 - ×2 points/factors→○Two points/factors
 - × In the 1st chapter→○ In the first chapter
- ただし、以下の場合は「1」を記号とみなすので、次のようになる。
 - ×In Chapter one→○ In Chapter 1

4.1.2 アラビア数字で数を表記する場合

- 複数の数字が文の中で1つのかたまりとなって使われるとき
- 数字をアルファベットで表記する場合、3つ以上の単語が必要であるとき
 - ×two hundred fifty→○250
 - ×25→○twenty five
- 住所、日付、時刻、金額、単位、競技スコア、数学的比率、ページなどを書くとき

4.2 日本語になっている外来語の英語表記

辞書などで確認してから使用すること

例) エコツーリズム

- ecotourism
- eco-tourism
- ×eco tourism

4.3 略語

初出で詳細を表記してから使い始めること

- × The purpose of this study is to develop CDM project
- The purpose of this study is to develop Clean Development Mechanism (CDM)

4.4 使用文字

半角英数字のみを使用すること

- × ①, ②
 - 1), 2), (1), (2)
- ×「 」

4.5 できるだけシンプルに

×This is an article that an example of the town planning in Japan

○This article shows an example of the town planning in Japan

4.6 表現のバリエーション

“I”ばかりを主語とする文の連続は避ける。

・I found a lot of useful information that can be applied in China.

→In this study, a lot of useful information proves to be applicable to China.

・I conclude that Ogawa Masayuki's view of homeland is

→Ogawa Masayuki's view of homeland, the author concludes, is

5 英語アブストラクト作成のチェックポイント

- 語数は制限範囲内か？
- どのような目的でどのような研究をしたのか明らかになっているか？
- 全体の流れが読者の期待する情報提示のパターンに一致しているか？
(各文ごとに役割 abs1-abs5 を記してチェックする)
- 主動詞は意味の明確な語か、時制は正しいか、動詞は主語の単数・複数に対応しているか？(主動詞に下線を引いてチェックする)
- 各章の紹介をしているだけの要旨になっていないか？

2. タイトル

1. よいタイトル

- 1) できるだけ少ない言葉で論文の主要なアイデアを手短に述べている。タイトルの最大語数は約 15 語だが、少ないほうが望ましい。
- 2) サブタイトルを書くことで、メインタイトルを補足できる。サブタイトルにはハイフン (–) は使わず、コロン(:)を使う。
- 3) タイトルは日本語のタイトルと内容が一致している。しかし必ずしも翻訳になっていなくてもよい。

2. タイトルの大文字ルール(Capitalization Rule)

ここで紹介するのは APA (The American Psychological Association) スタイルです。

- 1) 文頭・文末以外の「①冠詞と②4 文字以下の等位接続詞と③4 文字以下の前置詞」をすべて小文字にする。

例)

Learning from the Battlefield: Information, Domestic Politics, and Interstate War Duration

- 2) 頭文字を小文字にしないといけない単語

冠詞 a/ an/ the

等位接続詞 and/ as/ but/ for/ if/ nor/ once/ or/ so/ than/ till/ when/ yet

前置詞 at/ by/ down/ for/ from/ in/ into/ like/ near/ of/ off/ on/ onto/ out/ over/ past/ to/ up/ upon/ with

- 3) 気をつける単語 以下の英単語は頭文字を小文字のままにしがちなので特に注意してください。

接続詞 Although/ Because/ Unless/ Until/ Whenever/ Where/ Whereas/ Wherever/ While

前置詞 About / Above / Across / After / Against / Along / Among / Around / Before / Behind / Below / Beneath / Beside / Between / During / Except / Inside / Outside / Since / Through / Toward / Under / Underneath / Within / Without

出典「英語タイトルの大文字ルール | 11 の注意点」English に英語 HP
<https://www.sanctio.net/capitalization/> (2021.4.19 閲覧)

[Task 1] どの先輩のタイトルが好きですか？（体裁は別として）

Japanese _____

English _____

[Task 2] 自分の論文のタイトルを改善してみましょう。

Title

Japanese _____

English _____

執筆後、余分な部分（説明部分等）は消去すること

日本語タイトルはMS明朝 14ポイント

神戸における〇〇の検討

英語タイトルはTimes New Roman 14ポイント

1行あける
English Title

英語名前はTimes New Roman 12ポイント

2行あける
附属 太郎
Taro Fuzoku

日本語名前はMS明朝 11ポイント

英語本文はTimes New Roman 12ポイント

1行あける
Abstract
1行あける

This study explores ... 150 words 程度で記述

Keywords 5つを半角で列挙。大文字から始める

Keywords:

評価ルーブリック

1. 評価の観点

【分量】

制限語数（150 語程度）は守られているか。

【内容 1】

タイトルの書き方はルール（Capitalization Rule）にしたがっているか。

タイトルは日本語のタイトルと内容が一致しているか（翻訳になっていなくてもよい）。

キーワードが書かれているか。

【内容 2】

研究の目的や内容（方法・結果・考察）が（簡潔に）書かれているか。

研究の結果明らかになったことや今後の課題等について（簡潔に）まとめられているか。

【英語表現】

論文のスタイルにあった表現となっているか。

文法の誤りやスペルミスはないか。

〔評価スコア〕

分量	内容 1	内容 2	英語表現	合計
/3 点	/3 点	/6 点	/3 点	/15 点

2. 評価ルーブリック

	分量	内容 1	内容 2 <small>(注)</small>	英語表現
3	150 語程度	3 つの課題が十分に満たされている	5 項目（目的・方法・結果・考察・課題）に触れている	論文スタイルにあった適切な表現・文法を使用
2	/	3 つの課題がおおむね満たされている	5 項目のうち 3~4 項目を満たす。	おおむね適切な表現・文法を使用
1	/	3 つの課題に不十分な点が目立つ	5 項目のうち 1~2 項目を満たす。	適切な表現・文法の使用が少ない
0	100 語に満たない 200 語を超えている	指定した課題に全く従っていない	5 項目のうち 1 つも満たしていない	論文と全く関係のない内容が記述されている

注: 内容 2 は他の項目より重視し, 点数を 2 倍する。

[Task 1] 先輩の Abstract を評価してみましょう。

〔評価スコア〕 () 先輩の要旨

分量	内容 1	内容 2	英語表現	合計
/3 点	/3 点	/6 点	/3 点	/15 点